第２学年

学 年 通 信

練馬区立上石神井中学校
令和５年６月５日（月）

Ｎｏ７

運動会の作文から　その２

紙面の都合上、一部分を抜粋して掲載してあります。

今年も体育行事委員として運動会を成功させられるよう、１年生から３年生まで協力して頑張った。昨年と違ってコロナによる制限も緩和され、学年種目も学年ごとに違っていて、昨年よりも運動会らしかった。

クラス全員で走る全級リレーでは、最初の練習ではすごく差がついていたけれど、バトンパスを練習して、他のクラスと闘えるぐらい成長することができた。学年種目では、練習では一度も勝つことができなかったが、本番ではしっかりと作戦を立てて、２位になることができた。

この運動会でクラスの絆が深まり、それぞれの頑張りがあって、物事が成り立っているということを改めて知ることができた。これからは、自分たちを支えてくださっている人に感謝の気持ちを忘れず、自分の役割を全うできる人になりたい。　（Ｃ組　東　咲彩さん）

中学校で２回目の運動会。昨年と違って後輩もいます。そして僕は、初めて体育行事委員になって、不安がとても大きかったです。

僕は運動会準備のことが、一番強く心に残っています。係の人が朝早くから学校へきて準備をするのですが、誰一人、嫌だと言わず、協力して準備をしていることが、とても心に残っています。

また、応援も忘れられない思い出です。僕は、２年生の応援の声は、とてもよかったと思っています。３年生のソーラン節や代表リレーの応援は盛り上がっていました。リレーの走者が最後、一人だけになったときにも、２年生はみんなで大きな声で心から声援を送っていました。

体育行事委員の仕事で大変なこともありましたが、とても良い経験ができました。　（Ｂ組　諏訪　大翔さん）

２年Ｃ組、河原　さとさんの「社会を明るくする運動」ポスターが、練馬区役所で下記のとおり展示されます。おめでとうございます！

場　所　　練馬区役所　２階

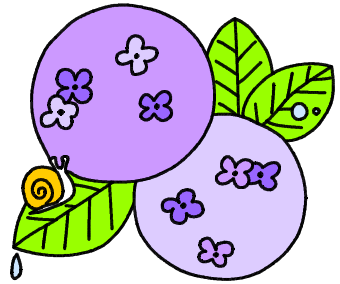
日　時　　７月１日～

道徳の授業から

先日の道徳の授業では、「消防団」という読み物教材から「社会の一員として地域や社会にかかわっていくには、どのような思いが大切なのか」というテーマに沿って、交流を通して、それぞれの考えを深めました。その中から一部を紹介します。

・町で生活していたり、活動できているのは、もちろん人がやっているからこそ活動ができているのだが、一番は、町が残してくれたから活動できるのであり、人と町の交流があることの大切さを思った。町と人が交流していくことで、町が守られている。

・みんなのために何かをすることは大切だと思う。でも、自分の仕事を放り投げてまでやるのは違う。自分の責任をきちんと果たすことが、まずは大切。大人になったら、みんなそれぞれ仕事に就くが、その仕事も、みんなのためになっている。

・感謝の気持ちを忘れないことが大切だと思います。どこかで、誰かが、世の中を支えているのだということを忘れないようにしたいです。

・自分も楽しみながら、他の人の役に立てればいいなと思いました。